



第2回 社会人女子プレミアムカップホッケー 実施要項

大会の趣旨 <競技力向上・普及拡大・地域との連携>

本大会は、女子ホッケーの国内トップチームにより多くの競技機会を提供し、競技力の向上と普及拡大を目指します。

また、フェアプレー、誠実さ、ルールを尊重し、相手選手や審判員へのリスペクト、不正行為やドーピング防止といったスポーツインテグリティを実践します。これにより、ファン層の拡大と地域連携を深め、女子ホッケー全体の発展に貢献することを目的とします。

1. 大会名 第2回社会人女子プレミアムカップホッケー
2. 共催 (公社)日本ホッケー協会、日本社会人ホッケー連盟
3. 主管 社会人女子プレミアムカップホッケー実行委員会、各開催地協会
4. 協賛 京王観光株式会社
5. 期日・会場
 - <予選リーグ> 8月9日(土)、10日(日)、11日(祝)
コカ・コーラレッドスパークスホッケースタジアム(広島)
今市青少年スポーツセンターホッケー場(栃木)
 - <予備日> 10月18日(土)
大井ホッケー競技場サブピッチ(東京) 予定
 - <順位決定> 10月19日(日)
大井ホッケー競技場サブピッチ(東京)
- 開会式: 2025年8月8日(金) 代表者会議終了後オンライン(Zoom)
- 閉会式: 2025年10月19日(日) 全試合終了(1・2位チームが参加)
6. 参加資格
2025年度(公社)日本ホッケー協会及び日本社会人ホッケー連盟に登録したチームただし、日本社会人ホッケー連盟からの推薦を必要とする。
7. 参加人員
チームスタッフは、監督1名、コーチ1名を含めて8名以内、選手は30名以内の合計38名以内とする。また、ベンチに入るチームスタッフは、監督1名、コーチ1名、医療スタッフ2名(フィジオセラピスト・ドクター、手当者等)、その他スタッフ1名の計5名以内とし、選手数は22名以内の合計27名以内とする。
8. 参加申込
 - (1) JHA登録管理システム(<https://jhamrs.jp/>)の大会申込から申し込むこと。
 - (2) チームスタッフ・選手の変更・追加は大会3日前まで可能とする。
別途指定する方法により登録変更を届け出ること。
9. 申込期限 2025年7月14日(月)
10. 参加料 1チーム 300,000円



振込先 武蔵野銀行 渋谷支店 普通 1007446 シヤ)ニホソッケーキョウカイ

※参加料については、いかなる理由があっても返金しない。

11. 競技規則

2025年度(公社)日本ホッケー協会競技規則、競技運営規程、レギュレーション及び有効な通達事項に則り行われる。

ただし、本大会では、得点後にも試合時間を停止し40秒カウントダウンを実施する。両チームが再開の準備が整い次第、アンパイアのホイッスルで試合を再開する。

12. 試合方法

前年度順位をもとに3チームずつに分かれて2プールで1回戦総当たりの予選リーグを実施。予選リーグの結果に基づき、各プールの同順位同士で順位決定戦を行う。

(1) 全ての試合において引き分けの場合は、シュートアウト戦を行う。

(2) 予選リーグの順位決定方法は、勝点の多いチームを上位とする。勝点は、勝ちチーム3点、負けチームに0点、引分けの場合、記録上は引分けとし、両チームに勝点1を付与し、試合終了後にシュートアウト(以下、SOという)戦を行い、SO戦の勝ちチームには、ボーナスポイント1点を付与し計2点とする。勝点と同点のチームが複数ある場合は、以下の順序にしたがって順位を決める。

①勝利数の多いチーム

②得失点差の大きいチーム

③総得点数の多いチーム

④当該チーム同士の試合で勝利したチーム

⑤該当チーム同士で別途に実施されるSO戦における勝利チーム

13. 代表者会議

日時：2025年8月8日(金)午後6時

会場：オンライン(Zoom)

※このTDが開催する代表者会議には、必ず出席しなければならない。出席者は、代表者(監督)の1名とする。やむを得ない事情で出席できない場合は、代理人の出席を認めるが、大会TDの承認が必要である。この代理人も大会参加申込されたチームスタッフまたは選手でなければならない。

14. その他

(1) 選手の背番号は1番から99番とし、参加申込後の背番号の変更は認めない。

(2) 試合に出場する選手については、申込(追加・変更選手を含む)をされた選手の中から22名(以内)の選手を選びスターティングリストに記載すること。試合毎にベンチ入りの22名(以内)を選択することができる。

(3) スターティングリストは基本的に電磁的方法にて行う。(詳細については、後日連絡する)

(4) JHA登録(会員証)確認は、(3)同様に後日連絡する。

(5) 選手は健康保険証を必ず携帯すること。万一負傷等の事故があった場合、応急処置はするが、その後の治療は参加選手自身と各チームの責任において行うこと。選手の健康管理には各チームで徹底すること。



- (6) 大会参加に伴うチームの移動については、チームの責任において行うこと。
- (7) 「監督、選手、コーチ、手当者（医療スタッフ）の兼任の徹底について」2021年6月24日付であった JHA 競技運営部（旧技術委員会）からの通知を厳守すること。
- (8) 監督は（公財）日本スポーツ協会の「コーチ3（ホッケー）」以上の資格を有していなければならない。
- (9) TDにより出場停止処分を受けた場合には、次試合以降のスターティングリストに（S）と記入しなければならない。その際、ベンチに入る人数は削減される。
- (10) 本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本大会に申込みした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。また、未成年者である参加者はドーピング検査実施について親権者の同意書を提出しなければならない。本大会参加者は、ドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかつた場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング検査及びアンチ・ドーピングについては、JADAのホームページを参照すること。
- (11) 参加者（チーム、競技役員、大会関係者）は、（公社）日本ホッケー協会が定める諸規程を熟知し、その内容に同意の上、「行動規範確認書」を提出したものとみなします。違反した場合には、懲戒処分を受ける可能性があり、参加者は、自身の言動について責任を負うものとします。
- (12) 選手の安全面を考える上で、登録選手全員にマウスガードを着用させなければならない。マウスガードを着用できない場合は、その理由を書面にて（マウスガード未装着届）電磁的方法にて提出しなければならない（ゴールキーパーのマウスガードの着用は強制しない）。また、ペナルティコーナに参加する守備者は、フェイスマスクを着用しなければならない。着用できない場合は、その理由を書面にて（フェイスマスク未着誓約書）電磁的方法にて提出しなければならない。
- (13) 本大会の「上位3チーム」は、「全日本ホッケー選手権大会」の出場権を獲得する。4位・5位のチームは全日本社会人大会上位チームとのプレーオフ戦に出場する。
- (13) 大会試合球については、Kookaburra Sport Pty Ltd. 製造「KookaburraDimple Elite」を使用する。
- (14) 荒天またはフィールド状態不良の場合、試合時間・会場の変更はあり得るが、予備日での実施を除いて、原則会期の延長は行わない。雷鳴・雷注意報等により、試合の緊急中断等の措置を講じる時または不測事態への対応は、TDと実行委員長が行う。
- (15) 医療スタッフに代わって、所属チームのスターティングリストに記載していない選手（20歳以上）を手当者として登録することができる。その場合の「チームスタッフ」としての登録は不要です。
- (16) 本大会では、サゼッションアンパイア制度及びビデオアンパイア制度は採用しない。
- (17) 熱中症対策については、「ホッケー競技における熱中症対策ガイドライン」に基づき、TDと実行委員長が協議し対策を決定する。